

福知山市次世代育成懇話会設置要綱

(設置)

第1条 次世代育成支援対策推進法に基づく少子化対策等の福知山市次世代育成支援行動計画（以下「行動計画」という。）の策定にあたり、市民、市民団体及び行政が行動計画を立案する組織として福知山市次世代育成懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(委員)

第2条 懇話会は、25名の委員をもって組織する。

2 委員は、福知山市に在住、通勤または通学している16歳以上の者の内から市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は委嘱の日から行動計画が策定される日までとする。

(幹事)

第4条 懇話会に会長及び副会長を置く。

(会議)

第5条 会議は必要に応じて会長が招集し、会議を進行する。

(事務局)

第6条 懇話会の事務局は福祉部管理課に置き、庶務を処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は事務局が別に定める。

(附則)

この要綱は平成15年10月2日から施行する。

次世代育成支援対策検討委員名簿

氏名	課名
山 根 祥 和	人権推進室
藤 村 恵 子	人権推進室
上 野 勝 則	生活交通課
青 木 洋 子	健康推進課
大 柿 日出樹	商工業観光課
津 田 勝 成	建設部管理課
山 本 真理子	教育委員会管理課
吉 見 祐 子	学校教育課
垣 尾 裕 子	生涯学習課
足 立 美 幸	社会福祉課
谷 口 智 広	高齢者福祉課
森 島 寿	福祉部管理課（事務局）
桐 村 佳 志	福祉部管理課（事務局）

福知山市次世代育成支援対策検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 次世代育成支援対策推進法に基づく少子化対策等の福知山市次世代育成支援行動計画（以下「行動計画」という。）の策定にあたり、プラン検討を行うとともに、行動計画を立案する組織である福知山市次世代育成懇話会（以下「懇話会」という。）との施策調整を図るため、福知山市次世代育成支援対策検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 懇話会への行政施策に関する情報提供
- (2) 行動計画案と行政施策との調整
- (3) その他計画立案に関し必要な事項の検討

(委員)

第3条 検討委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は、福知山市職員の内から市長が任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は委嘱の日から行動計画が策定される日までとする。

(会議)

第5条 会議は必要に応じて事務局が招集し、会議を進行する。

(事務局)

第6条 検討委員会の事務局は福祉部管理課に置き、庶務を処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は事務局が別に定める。

(附則)

この要綱は平成15年10月2日から施行する。

■ アンケート調査結果概要

1. 調査概要

(1) 配布・回収の状況

以下の2区分を対象とし、調査を実施した。

調査区分	対象	標本数
就学前児童の保護者	市内在住の就学前児童より無作為抽出	1,500人
小学校児童の保護者	市内在住の小学校児童より無作為抽出	1,500人

(2) 調査方法

調査方法は、次の通り調査票を配布・回収することにより、自記式にて実施した。

調査区分	配布・回収方法	配布日
就学前児童の保護者	郵送による	平成16年3月5日
小学校児童の保護者	郵送による	平成16年3月5日

調査締め切り：平成16年3月22日

(3) 回収状況

調査票の回収状況は次の通り。

調査区分	有効回収数(件)	有効回収率(%)
就学前児童の保護者	677	45.1
小学校児童の保護者	731	48.7

※ 以降、就学前児童の保護者用の調査を「就学前」、小学校児童の保護者用を「小学生」という。

(4) 調査の構成

調査票の設問構成は「保育サービスニーズ調査」と「子育て周辺分野の意向調査」となっている。「保育サービスニーズ調査」については、保育サービスの利用希望等を尋ねており、得られた回答をもとに、行動計画の計画期間におけるニーズ量を推計し、施策目標としての事業量を検討する材料とする。「子育て周辺分野の意向調査」については、福知山市の次世代育成のあり方を検討していくための基礎資料として活用していく。

2. 調査結果の概要

(1) 福知山市の子育ての状況

就学前、小学生を養育する家庭は、いずれも核家族世帯が最も多く 70%以上となっており、子どもは約 50%が 2 人きょうだいである。子どもの主な養育者や調査票の回答者からみると、子育て負担の女性偏重の傾向が顕著にうかがえる。なお、就学前児童では、施設保育等利用が 65.0%、家庭保育が 34.7%となっており、また、施設保育等を利用して
いる児童のうち 70.7%が認可保育所を、20.2%が幼稚園を利用している。

(2) アンケート結果に見る子育て支援ニーズ

①子育て自体に係る課題

【子育て不安・負担感、困っていることへの対応】

子育てに関する不安感や負担感について、「非常に感じる」「なんとなく感じる」をあわせると就学前で 55.3%、小学生で 49.3%にのぼる。それぞれについて悩みや気になること、困っていることの具体的内容について、それぞれ次のような項目が上位となっている。

■子育てに関して悩んでいることや気になること

就学前	子どもを叱りすぎているような気がする	43.9%
	病気や発育・発達に関する	40.2%
	子どもの教育費に関する	39.0%
小学生	子どもの進学や受験に関する	46.6%
	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関する	42.7%
	子どもの教育費に関する	37.9%

■子育てに関しての困っていること

就学前	自分の自由な時間が持てない	37.4%
	子育てで出費がかさむ	29.8%
	子育てによる身体の疲れが大きい	23.6%
小学生	子育てで出費がかさむ	30.5%
	自分の自由な時間が持てない	16.8%